

広報

心の通う福祉のまちづくり



社会福祉協議会だより

さつま町のふくし

No.69 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 令和7年1月発行

発行・編集 さつま町宮之城屋地2117-1(宮之城ひまわり館内) TEL 0996-52-1123 FAX 0996-52-1148



目次

- 表紙…………… 赤い羽根共同募金の街頭募金のようす（薩摩中央高等学校ボランティア部のみなさん）
- 2 P…………… 年頭のごあいさつ、よりあい処「幸」の活動紹介
- 3 P…………… 赤い羽根共同募金のお礼
- 4 P…………… 令和6年度赤十字奉仕団研修会のようす
さつま町食生活改善推進委員連絡協議会における炊き出し訓練のようす
- 5 P…………… 平川区支え合いマップづくりのようす、令和6年度サロン代表者交流会のようす
- 6 P…………… 令和6年能登半島地震及び大雨災害における珠州市災害ボランティアセンター運営支援の報告、
ボランティア活動保険広告
- 7 P…………… 香典返し・篤志寄付、災害義援金受付について、
エコキャップ収集について、車いすの貸出について
- 8 P…………… 無料法律相談・心配ごと相談、信教寺保育園様寄贈、レクリエーション道具の貸出



年頭のごあいさつ

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会

会長 大園 良正



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はさつま町社会福祉協議会の各種福祉事業推進にあたりまして、町民の皆様方には日頃から円滑な運営と各種の事務、事業の推進に格別のご支援とご協力を賜り、深く感謝とお礼を申し上げます。

昨年には元日は能登半島地震、8月には南海トラフ地震情報も発表された日向灘を震源とした地震、9月には能登半島豪雨と、全国各地で多くの災害に見舞われた年でもありました。犠牲となられました方々とご家族に心からお見舞い申し上げます。

さて、地域福祉をめぐる情勢は非常に厳しくなっております。少子高齢化の急速な進行に伴う人口減少、ライフスタイルや価値観の多様化、物価高騰など経済情勢の厳しさ等、地域を取り巻く環境は大きく様変わりしております。地域福祉に求められるものがますます複雑多様化していく中、本町では行政をはじめ地区社会福祉協議会及び民生委員・児童委員や他の社会福祉法人と連携し、地域の人びとが住み慣れた地域で安心して生活ができるように地域包括支援センター事業、福祉給食サービス事業、介護保険事業、日本赤十字・赤い羽根共同募金事業など多くの福祉事業を行っております。

また、地域福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、少子高齢化の急速な進展や核家族に伴う家庭・家族の介護力の低下などによる認知症高齢者や一人暮らしの高齢者世帯が増加傾向にある中、町と連携して設置された「権利擁護センター」が活動しております。

現在、当社会福祉協議会では子どもから高齢者まで幅広い福祉支援事業、ボランティア活動など相互援助活動事業を推進するなど、多様化する福祉ニーズに対応することを心がけております。

本年も、各種福祉事業の更なる充実と発展に役員一丸となって努めてまいれる所存です。で、皆様方のご理解とご協力を賜りますことを、重ねてお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

よりあい処「幸」〈地域の居場所〉の活動紹介

令和6年12月25日（水）、地域の居場所となっているよりあい処「幸」にて、忘年会が開催されました。参加者のみなさんでお弁当やケーキを食べたり、余興をしたりなど笑いの絶えない楽しい会となりました。



【よりあい処「幸」とは?】

さつま町紫尾地区にある旧商店跡地を利用し、地域の高齢者の方々を中心とした寄り合いの場所（居場所）として、令和2年11月1日に開所されました。

現在は、主に週2回（月・水）、ころばん体操やレクリエーション、オレンジカフェ（認知症カフェ）などを住民主体で運営されています。参加者の方は、20名程で、みなさんこの場所に集まり、活動することを楽しみにされています。



赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました



【戸別募金】

公民会・集落における募金

募金額/ ¥3,949,800



【学校募金】

学校における募金

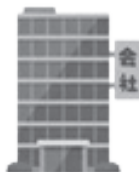
募金額/ ¥53,785



【職域募金】

会社や職場における募金

募金額/ ¥161,308



【イベント・その他募金】

募金箱や寄付における募金

募金額/ ¥96,442



【街頭募金】 募金額/ ¥31,325

令和6年11月7日（木）にプラッセだいわ宮之城店様のご協力にて、薩摩中央高等学校ボランティア部のみなさんと街頭募金を行いました。



ご協力
ありがとう
ございました。



募金総額（令和6年12月27日現在） **¥4,292,660**

赤い羽根共同募金とは？

共同募金は、戦後間もない昭和22年（1947）年に、市民が主体の民会運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化の中、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として取り組まれています。

共同募金は10月1日から翌3月31日まで

運動は、北海道から沖縄まで全国一斉に行われます。

毎年1回、全国一斉に募金を行うため、厚生労働大臣の告示によって、募金期間が決められています。10月から12月までは一般募金を、12月中は歳末たすけあい募金もあわせて行います。

また、この期間以外でも、様々な寄付金を取り扱っています。

令和6年度赤十字奉仕団研修会のようす

令和6年11月13日（水）、令和6年度日本赤十字奉仕団研修会を行いました。

研修では、毎年恒例であるハイゼックス（耐熱袋）を使った炊き出し訓練を行い、その後、講師としてお招きした日本赤十字社鹿児島県支部：砂原氏、赤十字防災教育指導員：津代氏と、令和6年能登半島地震災害における日本赤十字社の活動の説明や家具安全対策ゲーム（KAG）を行いました。



家具安全対策ゲーム (KAG)とは？

自宅の間取りから、地震などの際に、家具が倒れるおそれなどがある危険箇所に印をつけてもらうことで防災・減災意識を高めるゲームです。

★日赤奉仕団とは？★

「赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献したい」という思いを持った人びとによって市区町村ごとに組織されたボランティアグループです。

さつま町では、ボランティアグループ「さつま遊友会」が中心となり赤十字研修の参加や炊き出し訓練などの活動を行っています。

さつま町食生活改善推進委員連絡協議会 における炊き出し訓練のようす (令和6年度ボランティア養成講座)

令和6年11月21日（木）、さつま町食生活改善推進委員連絡協議会のみなさんと災害ボランティアセンターについての説明と炊き出し訓練を行いました。

炊き出し訓練では、ハイゼックス（耐熱袋）を使ったカレー風味のご飯、また市販の耐熱袋を使ったポトフやサラダなど災害時を想定した調理方法で、バランスの取れた食事を作りました。

今回の訓練において、災害時における食事支援のあり方についても深く考えていただく機会になりました。



平川区支え合いマップづくりのようす



令和6年11月27日（水）、平川区にて支え合いマップづくりの見直しが行われました。地域住民の方々が集まり、各公民会ごとの住宅地図（マップ）をもとに見守りが必要な方の確認や情報共有を行っていただきました。加えて、各公民会で今後目標として取り組んでいく地域福祉活動について共有を図りました。

今後、平川区として地域福祉活動の取り組みを継続していくために活発な意見交換がなされました。



☆支え合いマップづくりとは？☆

さつま町社会福祉協議会では、区や公民会などの地域ごとに「支え合いマップづくり」を行っています。住宅地図（マップ）を使用し、見守りが必要な高齢者等をわかりやすく把握できるツールの1つです。※個人情報などについては、配慮しながら行います。

令和6年度サロン代表者交流会のようす

令和6年11月22日（金）、鶴田中央公民館にてサロン代表者交流会を開催しました。今回は、役場総合政策課情報戦略推進係のご協力もいただき、「eスポーツ体験」ということで、最新のゲーム機やタブレットを使用し、「太鼓のゲーム」や「ボウリング」、「脳トレ」などを行いました。

参加者からは、「あっという間の時間でした。」「サロンでできたらいいです。」「久しぶりに童心に返り楽しい時間でした。」などの感想をいただきました。

ゲームを使用し、体を動かしたり、頭の体操をしたりすることで、子どもだけでなく大人も楽しむことができる内容でした。



太鼓のゲーム



ボウリング



令和6年11月13日～11月17日にかけて能登半島地震の被災地である珠洲市社会福祉協議会の災害ボランティアセンターの運営支援にあたりました。

地震災害に続き、9月の豪雨災害も重なり、被災地にて多くの倒壊した家屋や道路の寸断、水害による多量の土砂流出などを目の当たりにしました。未だ断水も続いている所もあり、住民の方々は、不安な日々を過ごされています。

私は、住民の方からのボランティアの依頼を受けた後に、現地を調査する「現地調査班」という役割に従事しました。寄せられるボランティアの依頼の内容については、公費解体予定のご自宅から仏壇等の貴重品の取り出し、壁の簡単な補修や屋根へのブルーシート張りなどが挙がっていました。ボランティアセンターには全国から50～80名のボランティアの皆さんが来てくださり、ボランティア活動にご協力いただきました。若い方も多く「お互い様の精神が幅広い年代に引き継がれている」ことを実感いたしました。

今回の運営支援を通じて、まずは、①個人として災害に対する備えと災害が起こった場合に、命を守る行動をとれるように日頃から考えるなど災害への意識を高めること。②行政・社協・企業・地域など組織として、地震・水害・津波など災害ごとに被災状況や支援ニーズが異なることを想定・予測して、災害訓練や連携などを行うことの重要性を感じました。

令和6年能登半島地震及び大雨災害における
珠洲市災害ボランティアセンター運営支援の報告

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会
地域福祉係 下口和郎

石川県 珠洲市(すずし)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術	入院中の手術	65,000円	
	保険金	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任の補償	特定感染症		補償開始日から補償 ^(*)	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定運行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引当替〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30～17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

皆様の善意に 感謝申し上げます

社会福祉協議会では、皆様方よりいただきまし
た寄付を、地域福祉の向上のために活用させていた
だいております。

令和6年9月1日、

令和6年11月30日受付分)

香典返し寄付

57件
63万円

寄付者名(住所) 故人(敬称略)

(町内は大字、町外は住所)

上之原 貢(霧島市)	故	上之原知利子
下田 敏郎(寧城屋)	故	下田アサ子
松永 郁代(二渡)	故	松永 芳和
山下 信男(求名)	故	山下 裕介
蘭田 武徳(広瀬)	故	蘭田 トメ
假屋原エミ子(寧城屋)	故	假屋原末広
小川内 繁(広瀬)	故	小川内ハルカ
瀧田 壽彬(湯田)	故	瀧田 伯子
原園 修二(鹿兒島市)	故	原園 二子
小久保進一(紫尾)	故	小久保よし
宇都宮貞一(久富木)	故	宇都宮 一郎
眞崎 節子(山崎)	故	眞崎 計
上野 則子(柏原)	故	上野 祥司
高下 聖也(鶴田)	故	高下 直子
山澤津 守(柏原)	故	山澤津 晃
福添 信子(求名)	故	福添 幸藏
川平エイ子(泊野)	故	川平 洋一
小向井千保(虎居)	故	小向井道子
久保蘭正昭(田原)	故	久保蘭享子
濱田 敬造(杵野)	故	濱田 ハツ
市末アツ子(平川)	故	市末 忍
下木場重孝(二渡)	故	下木場節子

亀田 典昭(伊佐市)	故	亀田 典子
小田原治子(轟町)	故	小田原邦弘
中間 妙子(平川)	故	中間 貞美
柳山 恭子(寧城屋)	故	柳山 健一
宮後 時夫(求名)	故	高橋ゆかり
是枝ひとみ(寧城屋)	故	是枝 巨
立和名ミツ子(寧城屋)	故	立和名實徳
徳留 チヅ(紫尾)	故	徳留 千秋
中馬 清子(旭町)	故	中馬 尚義
中野 涉(鹿兒島市)	故	中野スミエ
毛利 芳幸(時吉)	故	毛利ヨシ子
中原 浩一(寧城屋)	故	中原壽美子
迫 美和子(船木)	故	前野 稲子
満尾 裕一(鹿兒島市)	故	満尾 トシ
松元 ヤツ(田原)	故	松元 公則
伊東 立子(虎居)	故	伊東 成弘
内之倉タキ子(広瀬)	故	内之倉成功
亀澤 勉(田原)	故	亀澤 和子
轟原 哲三(轟町)	故	轟原フヂエ
池山 妙子(永野)	故	池山 憲一
尾野野文子(湯田)	故	尾野野義信
山下 春子(神子)	故	山下 次雄
植園 達也(虎居)	故	植園 豊子
小緑 繁(湯田)	故	小緑 正子
島子 典子(求名)	故	島子 恭二
小山 高德(神子)	故	小山 悦子
西牟禮奈美子(虎居)	故	面牟禮 繁
橋口 達也(東京都)	故	橋口 フシ

匿名希望 7 件

訂正とお詫び

社会福祉協議会だより「さつま町のふくし」No.68(令和6年10月発行7ページ)において、記載内容に誤りがありましたので、左記のとおり訂正させていただきます。深くお詫び申し上げます。



誤下大迫隆史(神子) 故上大迫慶子
正下大迫隆史(神子) 故下大迫慶子

災害義援金受付(R6年12月末現在)

さつま町社会福祉協議会では、次の災害義援金を受け付けております。

- 令和6年9月能登半島大雨災害義援金
 - 令和6年度能登半島地震災害義援金
 - 令和6年度沖縄県北部豪雨災害義援金
 - 中東人道危機救援金
 - バンングラデシユ南部避難民救援金
 - アフガニスタン人道危機救援金
 - ウクライナ人道危機救援金
 - イスラエル・ガザ人道危機救援金
- ※最新の受付状況については、さつま町社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

エコキャップ収集について

さつま町社会福祉協議会(宮之城ひまわり館)では、収集したエコキャップをリサイクル業者へ売却した利益を「世界のこどもにワクチンを 日本委員会」へ寄付しています。

不要なエコキャップがございましたら、お持ち込みください。



【車いすの貸出について】

さつま町社会福祉協議会では、高齢者や障がいのある方が、一時的に外出及び外泊される際に車いすが必要な場合、おむね1ヵ月間を目安に無料で貸し出しを行っております。

お気軽にご相談ください。

さつま町社会福祉協議会
☎ (0996) 52-1123



【無料法律相談】

※事前に予約が必要です。

☎：(0996) 52-1123

相談員：弁護士

場 所：宮之城ひまわり館 相談室

日 時：毎月 第3木曜日（原則）

午後1時30分 ～ 午後4時30分

※1件が30分程度のご相談になります。

【心配ごと相談】

※予約は必要ありません。

相談員：さつまくらし・しごと
サポートセンター職員

場 所：宮之城ひまわり館 相談室

日 時：毎週木曜日

午前10時00分～12時00分

信教寺保育園様 勤労感謝の贈り物をありがとうございました。



さつま町社会福祉協議会では、高齢者ふれあい・いきいきサロン等で活用できるレクリエーション道具の貸し出し（無料）を行っております。ぜひ、ご活用ください。

レクリエーション道具の貸出

さつま町社協HP



社会福祉 法人 さつま町社会福祉協議会
さつま町ボランティアセンター

- ・事務局（宮之城ひまわり館） ☎ (0996) 52-1123 FAX (0996) 52-1148
- ・福祉給食センター ☎ (0996) 52-1191
- ・訪問介護事業所、訪問入浴介護事業所 ☎ (0996) 21-3603 FAX (0996) 52-0448
- ・障害者訪問介護事業所、障害者訪問入浴事業所 ☎ (0996) 21-3603 FAX (0996) 52-0448
- ・障害者相談支援センター ☎ (0996) 52-1123
- ・権利擁護センター ☎ (0996) 52-1865
- ・さつまくらし・しごとサポートセンター ☎ (0996) 52-2443
- ・地域包括支援センター ☎ (0996) 52-4690
- ・老人福祉センターいぬまき荘 ☎ (0996) 55-9055

この広報誌の発行には赤い羽根共同募金が使われています。

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会